

授業科目	教育心理学				単位	2		
履 修	選択	関連資格	栄教一種免		ナンバリング	NT24103J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2			
担当教員	中島 俊介							
授業概要	教育心理学は、大学で学ぶ教職科目のうちもっとも重要な科目の一つである。児童・生徒の教育にあたって、子どもや保護者や同僚の「心理」をとらえなければ、その責任と使命は全うすることはできない。この授業では、教育に関わるテーマを心理学的側面からアプローチし、解説する。具体的には、教育心理学の歴史と研究方法、学習メカニズム(記憶、知識と問題解決、学習、人間の発達、知的発達、発達障害)、学習活動にかかわる要因(原因帰属、動機づけ)人間関係(学級という社会、人格発達、カウンセリング)、指導と評価(学習指導、教育評価)を取り上げる。なお、この授業は対面授業として実施する。							
学生が達成すべき行動目標	<p>(1) 幼児、児童及び生徒の心身の発達に対する内外要因の相互作用、諸発達理論を踏まえ、発達概念及び教育における発達理解の意義を理解することができる。</p> <p>(2) 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を説明することができる。</p> <p>(3) 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。</p> <p>(4) アクティブラーニングを支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴を関連付けて説明できる。</p> <p>(5) 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的学習活動を促す効果的な指導の基本的な考え方を説明できる。</p> <p>(6) 学習のメカニズム(どのように人は発達して、学習し、考え、記憶するのか)の過程を説明できる。</p> <p>(7) 学習活動にかかわる原因帰属や動機づけのタイプを説明できる。</p> <p>(8) 児童・生徒との関わり方のタイプや人格発達の過程を説明できる。</p> <p>(9) 授業形態や評価法を説明できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	30	0	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	0	10	0	0	0	30	
知識・理解 (DP1-2)	15	0	10	0	0	0	25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10	0	5	0	0	0	15	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	5	0	5	0	5	0	15	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	5	0	0	0	5	0	10	
態度(DP4-2)	5	0	0	0	0	0	5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

教育心理学の基礎的な知識と応用についてよく理解し、現実の教育場面の様々な課題を考える、実行することができる。教育実践の問題や文献の内容について説明し、他者に正確に伝えることができる。		教育心理学の基本的な知識を身につけ、それを人に説明することができる。文献や教育のことについて、人に説明することができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	第1回:テーマ「オリエンテーション・教育心理学で学ぶこと」(中島俊介) 教師の役割と使命について理解を深めるよう促す。幼児、児童及び生徒の心身の発達を学ぶ意義について説明する。	講義	予習;シラバスを読む 復習;該当部分の復習	60
2	第2回:テーマ「発達の初期」(中島俊介) 幼児と学童期の発達について代表的理論に沿って講義する。	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
3	第3回:テーマ「発達の中学・高校期」(中島俊介) 中学生期と高校生期の発達についてその特徴を説明する	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
4	第4回:テーマ「学習と動機付け」(中島俊介) 心理学から見た学習に関する基礎的知識と代表的理論を講義	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
5	第5回:テーマ「学習のメカニズムと忘却」(中島俊介) 記憶と学習の関係や忘却の理論について説明する。	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
6	第6回:テーマ「学び方の方略」(中島俊介) 学習効果・学習効率をあげる学習方略(心的操作)を講義する	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
7	第7回:テーマ「学び方にハンディーのある子どもについて」(中島俊介) 最新の発達障害研究の知見を紹介する。	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
8	第8回:テーマ「様々な学習形態や概念について」(中島俊介) 発見学習・仮説実験授業・プログラム学習などの多様な学習形態を説明しその効果について講義する。	講義 演習(GW)	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
9	第9回:テーマ「教育評価について」(中島俊介) 主体的学習を支える学習評価について講義する。	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
10	第10回:テーマ「集団づくりと学級経営」(中島俊介) 集団の種類、集団の特徴を把握する心理検査、集団の力学について説明する。	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
11	第11回:テーマ「教師と子どもとの関係」(中島俊介) 教師のリーダーシップについて。人権への配慮。ピグマリオン効果など教師と子どもの良好な人間関係について講義する。	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
12	第12回:テーマ「教育相談の手順と技能」(中島俊介) 各発達時期における運動・言語・認知・社会性の発達は当然個人差があるそれゆえ様々な悩みや学校生活の生きづらさが生ずる。それらの相談にあたる際の基本的スキル(カウンセリングの技法など)について講義する。	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
13	第13回:テーマ「生徒指導と進路指導」(中島俊介)	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60

	いじめ・不登校などの最新の知見について講義する。ライフキャリアの形成についての心構えについて説明する。			
14	第14回:テーマ「特別支援の理解と心理」(中島俊介) LD・AD/HD・ASDの理解と支援について講義する。その他の障とく(視覚・聴覚)についての説明をする。テーマ2「今期の講義のまとめ」大事な点を再度確認する。	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
15	第15回;テーマ「これまでの学習のまとめと振り返り」(中島俊介) それぞれの学びを交換して未来への展望を拓く。	講義	予習;今までの学習の振り返りとまとめ 復習;他の学生の振り返りを自分のことばでまとめる	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	教壇に立たなくても、日常の生活で「人に教えたり、示唆したりすること」はある。教育の営みは身近にある。普段から教育に関する心理学的な視点から考える習慣を身につけてもらいたい。			
テキスト	「ガイドライン学校教育心理学…教師としての資質を育む」大野木裕明他著 ナカニシヤ出版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「君たちはどう生きるか」吉野源三郎著 マガジンハウス			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	学校で学んでいる現在を活かしてもらいたい。身近な大学の教員にも気軽に雑談を行い。教師のあり方や心構えについて意見を聴いてもらいたい。授業では「映像」を多く見てもらう。知識だけではなく心で感じてもらいたい。
達成度評価に関するコメント	毎回の授業への参加熱意と態度が反映するコメントを試みたい。期末のレポートの課題についても講義中に指示する。